

なかつか 亮



品川区議会第1回定例会 開会

認可保育園4月入園

不承諾通知数 894人 (第一次)



「区にはお金も土地もある。将来の財政負担を理由に区立認可園を作らないのはおかしい」と民間誘致を掲げる区の方針を追求しました。

自席にて再質問。今議会からインターネット中継も始まりました

今年も保育園不足が深刻です。2月19日から開会された区議会定例会にて4月認可保育園(第一次分)の不承諾通知数が894人と昨年を上回る厳しい入園状況が判明。共産党の質問に濱野区長が答弁しました。不承諾通知が届いた保護者は「これからどうすれば良いのか」と区窓口に相談。「3歳未満児の2時募集の枠は2名」との説明に愕然としています。

昨年の1.4倍

今年4月の入園第一次分について申請者数2532人(昨年2160人)、不承諾通知数894人(昨年632人)と不承諾通知数は昨年の1.4倍。今年も厳しい入園状況が続いています。

648億円貯金額

濱野区長は「総合的な待機児対策」とプランを掲げますが、問題はこれの中に区立認可園の建設は来年7月の1園が最後。理由を「区立園の建設は少子化が進む中、将来の財政負担になる。だから民間誘導を積極的に進める」と説明しました。共産党は「今年入園できなければ生活も人生も壊れてしまう保護者を前に、財政負担を理由に作らないとは間違っている。子育て支援の充実は未来への投資。648億円もの区の貯金(積立基金)は、区民の暮らし応援にこそ充てるべき」と

認可保育園、特養ホーム 等区民の暮らし応援こそ

区新年度予算では住民税や都・国交付金など130億円の歳入増、区貯金（基金残高）は648億円を見込んでいます。認可園建設費は約2億円。年間運営費は約1・5億円ですから財源は十分です。

また国・都有地や学校跡地などが区内に4万8734㎡と東京ドーム1個分超も。お金も土地もあるのに区立認可園を“財政負担”とは納得できません。

特養ホーム増設

合わせては特養ホーム増設も提案しました。区の特養入所状況は584人中、4

52人が入所できま
せん（昨年8月時点）
。そこで「今後、増設
される3施設は23
1人。待っている高
齢者の半分以下。高
齢者増を見通せばさ
らに足りない」と増
設を求めました。

しかし区は「今は
考えていない」と答
弁しました。

健全財政って何？

区貯金648億円
とは23区平均の10
0億円超です。区は
“健全財政”と誇り
ますが、福祉を削り、
住民要望に背を向け
溜め込んだものでは
ないでしょうか？と
ても自慢にはなりま
せん。 なかつか亮

本会議の質問は、その他、伊藤学園プール一般開放再開を！も取り上げました。質問と答弁について、品川区議会ホームページで動画が見られます。是非、コチラもご覧ください。

道路問題



伊藤小学校体育館にて

2月13日、伊藤小学校体育館で29号線西大井5・6区間の用地測量説明会が開催。60名の住民が参加しました。参加者から「ここは高低差があるが、どうするのか」と質問。都は「道路をあげたり、下げたりして高低差を処理する」と説明しました。陸橋や掘り割で、住宅街に20m道路を通し街を分断するとは、まさに“まち壊し”です。

笠井あきら衆院議員 現地調査

2月18日に共産党笠井あきら衆院議員と一緒に道路建設の現地調査を行いました。当日は白石たみお都議も参加し、放射2号線、29号線、28号線の3路線を調査。笠井衆院議員は、池上通りを拡幅し、商店の間口を削る28号線について「どこも街と商店街を壊すだけの計画じゃないか。国会でも取り上げたい」と話していました。



左2番目から、白石都議、笠井衆院議員、なかつか亮区議（池上通りにて）

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

4月11日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室**5742-6818** 夜：事務所**3773-3231**